

科の説明

腎臓内科は、ネフローゼや腎炎、腎症、透析はもとより全身管理を行っている科であります。特に腎機能が低下した症例では、腎臓の評価はもとより血圧は？貧血は？（腎性貧血の合併があるかということ）、電解質などのバランスは？ホルモン（副甲状腺ホルモンなど）は？心臓は？血管は？動脈硬化は？骨の変化は？食事療法は？投薬量は？と次から次へ全身状態を考えて治療を行っております。実りある研修ができるようお互い頑張りましょう！

一般目標

腎臓病患者の診療、検査、診断、透析などの適応を決めることができる。また各科からのコンサルテーションに対応ができる。また必要な専門科にコンサルトができる。

行動目標

- 1) 尿所見が理解できる。
- 2) 電解質、血液ガス分析が理解できる。
- 3) 腎生検の適応が判断できる。
- 4) 腎炎、ネフローゼの治療が理解できる。
- 5) 腎臓病の食事療法を理解し指導できる。
- 6) 保存期腎不全の管理ができる。
- 7) 透析の適応が判断できる。
- 8) 腎代替療法の説明ができる。
- 9) 急性血液浄化の適応が判断できる。

経験目標

- 1) 病歴聴取、問診が十分できる。
- 2) 身体所見がしっかり取れる。
- 3) 尿所見、尿沈渣を診断する。
- 4) 腎臓病の診断に必要な検査がオーダーできる。
- 5) 検査所見から必要な処置がアセスメントできる。
- 6) 症例検討会で、今後の治療方針を含めた症例提示ができる。
- 7) 腎生検の適応と合併症が理解できる。腎生検後の管理ができる。
- 8) 腎組織の診断方法（光顕、蛍光、電顕）が理解でき、積極的に組織検討会に参加できる。
- 9) ステロイド、免疫抑制剤の投与方法、副作用が理解できる。
- 10) CKDガイドに沿った保存期腎不全の管理が行なえる。
- 11) 腎代替療法の選択適応が理解でき、患者に説明ができる。
- 12) 血液透析、腹膜透析の基本原則が理解できる。
- 13) シェント作成、CAPDカテーテル挿入が理解できる。
- 14) 血液透析、腹膜透析の合併症に対処できる。
- 15) 緊急血液浄化の種類、適応、処置が理解できる。
- 16) FDLカテーテル挿入、カテーテルに関連した合併症が理解できる。
- 17) 腎不全時に注意する薬物が理解でき、調節できる。
- 18) 勉強会に積極的に参加できる。

指導体制

指導医・研修協力医と研修医が、ともに患者の診療にあたる。

週間スケジュール

	午前	午後	夜間
月曜日	外来 透析 手術	外来 透析 手術	
火曜日	CAPD外来 透析	CAPD外来 透析 シャントPTA	
水曜日	外来 透析 手術	外来 透析 手術	病理検討会
木曜日	外来 透析	外来 透析	
金曜日	外来 透析	外来 透析	症例検討会
土曜日	透析	透析	

定例研修会等

日本腎臓学会、日本透析学会、内科学会などへの参加。また地域の開業医先生方とCKD病診連携を行っている。

具体的な研修方法・留意事項

- 1) 診察、検査、診断、処置は全て指導医・研修協力医の指導、助言のもとで行う。
- 2) 積極的に患者さんを診るようにして下さい。